



Department
of Health

ニューヨーク州の健康改善計画： 予防アジェンダ



**私たちの健康状態はどうでしょうか。健康をさらに向上させるには、
何ができるのでしょうか。**

これらの疑問への答えは、「2025–2030 予防アジェンダ（Prevention Agenda）」にあります。これは、ニューヨーク州に暮らすすべての人々の健康とウェルビーイングの向上を目指した6年間の計画です。本計画は、ニューヨーク州保健局（New York State Department of Health）が策定したもので、ニューヨーク州健康増進計画（New York State's Health Improvement Plan, SHIP）とも呼ばれています。詳しくは、こちらのサイト（health.ny.gov/PreventionAgenda）をご覧ください。



▲ 予防アジェンダ
について詳しく
知る

予防アジェンダが目指すもの：

- ・ ニューヨーク州に暮らすすべての人が、可能な限り最高の健康状態を実現できるよう支援すること
- ・ 予防： 病気や健康への悪影響（望ましくない健康上の結果）が生じる前に、防止することです。
- ・ 健康格差の縮小： 健康や身体機能、生活の質に悪影響を及ぼす環境条件があっても、すべての人が可能な限り健康でいられるよう、公平かつ公正な機会を確保することです。例えば、安全に歩ける場所がないことや、健康的な食品を入手しにくいことなどが挙げられます。



予防アジェンダの概要

予防アジェンダをご覧くださいと、その内容が幅広い視点に基づいていることがお分かりいただけます。本計画では、健康に影響を及ぼす従来の要因だけでなく、私たちが暮らす地域をはじめとする、日常生活に関わる社会的・経済的・環境的要因にも着目しています。予防アジェンダでは、健康状態や健康行動、そして制度の仕組みに起因する課題（システム上の課題）に取り組むための24の重点分野を掲げています。これには、貧困、教育、住居、質の高い医療へのアクセスなどが含まれます。

予防アジェンダはどのように実施されるのでしょうか。

予防アジェンダは、州保健局と州内のさまざまな保健関係者との連携により推進されています。州保健局は、地域保健局、病院、地域に根ざした団体（コミュニティベースド組織）、医療提供者、支援団体、教育関係者、州の関係機関、政策立案者などと協力して取り組んでいます。これらの関係者は、それぞれの地域のニーズに応じて資源を創意工夫しながら活用し、日々の活動の中で予防アジェンダを実践しています。



予防アジェンダはどのように策定されたのでしょうか。

まず、ニューヨーク州における現在の健康状態や、その動向、さらに公衆衛生上の主要な課題を把握する必要がありました。また、役割分担や資金配分についても検討する必要がありました。これらを明らかにするために、州健康アセスメント（State Health Assessment, SHA）を実施しました。その結果をもとに、予防アジェンダを策定しました。



予防アジェンダ について知る

予防アジェンダのウェブサイトでは、計画の詳細をご覧ください。

詳しくは、こちらのサイト (health.ny.gov/PreventionAgenda) をご覧ください。



予防アジェンダ の取り組みを見る

予防アジェンダのダッシュボード (Prevention Agenda Dashboard) では、取り組みの進捗状況をご確認いただけます。

詳しくは、こちらのサイト ([health.ny.gov/PreventionAgenda Dashboard](https://health.ny.gov/PreventionAgendaDashboard)) をご覧ください。



参加するには

新たなパートナーの皆さまのご参加を歓迎しています。詳細は、ウェブサイトの「Partnerships and Collaboration (パートナーシップと連携)」タブをご覧ください。

詳しくは、こちらのサイト (health.ny.gov/PreventionAgenda) をご覧ください。

